

■李方子 皇太子妃候補のひとりだったが、国策から大韓帝国皇太子に嫁がされ、波乱の人生を送った。

りまさこ

田中正造直訴1901＝ 東京麹町三番町の梨本宮家で、(九迹宮朝彦親王四男)梨本宮守正王と(鍋島直大侯爵次女)伊都子妃の第一女子に生まれる。

日露戦争終・1905＝ 4歳：

韓国反日暴動1907＝ 6歳：この年、韓国統治する日本への人質として留学名目で大韓帝国皇太子李垠が来日、
アソキ創刊・1908＝ 7歳：学習院女子部に入学、

韓国併合・1910＝ 9歳：併合により李垠は皇太子から李王世子に降格される。
皇太子裕仁親王(後の昭和天皇)の妃候補のひとりとして名前が取り沙汰されるが、

明治天皇没・1912＝11歳：
1913＝12歳：学習院女子中等科に進む。

民本主義・1916＝15歳：避暑のため梨本宮家大磯別邸に滞在していた時、手元にあった新聞を何気なく開いて自らの李垠との婚約を知り、ショックを受ける。表向きは「日韓融和のため天皇陛下の御沙汰」によるものとされているが、方子の結婚相手を探さず見つからず、朝鮮王族に嫁がせたい母伊都子の希望によるものだったらしい。

本格政党内閣1918＝17歳：納采の儀が行なわれた。女子学習院卒業後、
ベルサ条約・1919＝18歳：婚儀の予定だったが、直前に李太王(高宗)が脳溢血のため死去。これには日本側の陰謀による毒殺説が存在し、三・一独立運動の引き金ともなった。このため婚儀は延期された。

大暴落・・・1920＝19歳：*李垠と結婚。婚礼の直前に婚儀の際に朝鮮のナショナリストによる暗殺未遂事件(李王世子暗殺未遂事件)が発生した。婚礼に際しては、和装(十二単)・洋装に加え、朝鮮服も準備された。以後、自分に課せられた日本と朝鮮の架け橋としての責務を強く自覚し、祖国を離れて日本で暮らす夫を支える。

原敬首相暗殺1921＝20歳：第一子晋を出産。
水平社結成・1922＝21歳：夫妻は、晋を連れて朝鮮を訪問。李王朝の儀式等に臨んだが、帰国直前に晋は急逝する。晋の死は急性消化不良と診断されるが、その一方で、日本軍部・朝鮮双方による毒殺説が流布されている。第一子を失った方子妃は、日本に留学した李垠の異母妹・李徳恵の身边を親身に世話した。

円本時代始・1926＝25歳：純宗王が死去し、李垠が28代李王となる。

金融恐慌・1927＝26歳：翌年にかけて、夫妻でヨーロッパ旅行。

共産党事件・1928＝27歳：その後、一度の流産を経て、
海軍軍縮条約1930＝29歳：鳥居坂の御殿を宮内省に返還し、赤坂紀尾井町の新邸(プリンスホテル旧館)に引っ越す。
満州事変・1931＝30歳：第二子玖を出産。

芥川直木賞始1935＝34歳：李垠が54連隊長として宇都宮に赴任したことから、西原町の民家で普通の暮らし。

日中戦争始・1937＝36歳：

各地を転々としてきた李垠が満州の錦州出征に至る。

日米開戦・1941＝40歳：

敗戦・・・1945＝44歳：_日本の敗戦による朝鮮領有権喪失と、

新憲法公布・1946＝45歳：

新憲法施行・1947＝46歳：*日本国憲法施行に伴い、李垠・方子夫妻は王公族の身分と日本国籍を喪失して一在日韓国人となった。邸宅・資産を売却しながら、細々と生活を送っていた。

1950＝49歳：玖がアメリカに留学、

独立回復・1951＝50歳：

夫妻は大韓民国の初代大統領李承晩により帰国を妨げられたまま、

55年体制始・1955＝54歳：

なべ底不況・1957＝56歳：玖がマサチューセッツ工科大学建築科を卒業するとともに、永住権取得。卒業式から2年間、夫と玖のもとに滞在。

安保闘争・1960＝59歳：李垠が脳梗塞で倒れる。自らも、乳がんの手術。

タイタイ病始・1961＝60歳：クレーダで李承晩退陣後、

TV宇宙中継始1963＝62歳：*朴正熙大統領の計らいで夫妻はようやく帰国を果たす。夫妻の生活費は韓国政府から支出され、昌徳宮内に住まうこととなると、ソウル赤十字支社に入会し、韓国ではまだ進んでいなかった福祉事業に着手、

東京リビッ 1964＝63歳：

いざなぎ景気1966＝65歳：_財団法人(慈行会)を発足させる。

美濃部都知事1967＝66歳：_李垠の雅号をとった職業訓練学校(明暉園)を開校、

大阪万博・1970＝69歳：金婚式直後、李垠が死去。

ドルショック・1971＝70歳：_慈行学園)を開園、

石油ショック1973＝72歳：_京畿道水原市に自らの雅号用いた知的障害養護学校(慈恵学校)を開校、

趣味でもあった七宝焼の特技を生かしソウル七宝研究所を設立し自作の七宝焼の他にも書や絵画を販売したり、李氏朝鮮の宮中衣装を持って世界中を飛び回り王朝衣装ショーを開催する等して資金を集める。また、終戦後の混乱期に韓国に残留したり、急遽韓国に渡った、さまざまな事情を抱えた日本人妻たちの集まり、在韓日本人婦人会(芙蓉会)の初代名誉会長を勤めた。また前述の福祉活動や病気治療のため度々来日し、昭和天皇・香淳皇后を始めとする皇族とも会う機会があった。尽力は韓国国内でも好意的に受け止められ、

成田衝突・・・1978＝77歳：_大邱社会事業大学から名誉博士号。

・・・1981＝80歳：_福祉事業への功績が認められ、韓国政府から牡丹勲章が授与された。

中曽根内閣・1982＝81歳：

ドイツユーロ・1983＝82歳：_続いて文化章を授与される。外国語大学から名誉博士号。

昭和天皇没・1989＝88歳：*没した。葬儀は旧令に従い、韓国皇太子妃の準国葬として執り行われ、日本からは三笠宮崇仁親王夫妻が参列した。後に韓国国民勲章権賞(勲一等)を追贈された。

「国際社会で活躍した日本人」、インターネット、